4

実践力を身につける

学習の文脈に即した多様な言語活動をとおして、実生活で生きてはたらく実践的なことばの力を育成します。社会で求められる知識や技能、ものの見方や考え方を育みます。

一例をご紹介

■読む「達人のことば　宮大工　西岡常一　彫刻家　外尾悦郎」

（2年p.189）

（2年p.182）

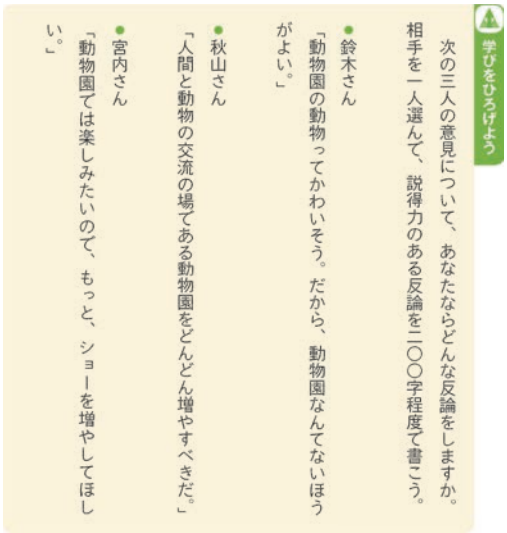
■資料編「インタビューをする」

（2年p.270）

■資料編「メモを活用する」

（2年p.268）

■読む「動物園でできること」



（2年p.140）

●キャリア・仕事に関わる教材

今までの歩みを振り返って将来について考える教材を配置し、社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度を育てることに配慮しています。

●他教科や生活に生かす

他教科や日常の言語生活・社会生活との連携を図り、国語科の学習で習得したことばの力が生きてはたらくように工夫しています。

●自分の意見を書く

読むことの教材においても、他者の意見に対して自分の意見を表明したり、説得力のある反論をしたりする文章を書く活動を設定しています。